資料№24

地域公共交通網形成計画策定委託料の内容、計画の基本方針、本市の公共交通の課題

都市安全部　道路政策課

１　計画の基本方針

人口減少などの社会情勢の変化により、公共交通の利用者は今後減少傾向となることが予想され、これまでのような公共交通のサービス水準を維持することは困難になると想定されます。一方で、高齢者の人口は今後も増加を続ける見込みであり、生活のための交通手段の確保は喫緊の課題となっています。

そこで、将来のまちづくりとして総合計画で掲げる「コンパクトな都市」を見据えた公共交通網を形成し、地域の利用状況に応じて、デマンド交通、自家用有償運送など、きめ細やかで持続可能な公共交通への転換を図ります。

２．地域公共交通網形成計画策定委託料の内容

① 移動についての現況把握、分析

・既存の路線バス等の乗降調査の結果、パーソントリップ調査（地域別・交通手段別の交通実態の調査）結果などを取りまとめ、市の公共交通について現状把握します。

・無作為抽出で選定した市民約 5000 人を対象にアンケートを実施し、日常生活を行う上での行き先や交通手段について調査することで、市民の公共交通に対するニーズを把握します。

② 宝塚市地域公共交通網形成計画素案の取りまとめ

・上記の分析により得られたニーズ、課題をもとに、計画の基本方針、目標を設定します。

・地区毎に求められる地域公共交通のあり方について取りまとめ、実現するための方策について整理します。

・以上の内容を踏まえた計画素案の取りまとめを行います。

なお、計画の取りまとめにあたっては、学識経験者、市民委員、公共交通事業者、国(運輸局)、警察、道路管理者、市等で構成する宝塚市地域公共交通協議会において、協議・検討を行います。

３　本市の公共交通の課題

本市の公共交通網は鉄道を基幹とし、それを補完するバス交通等で構成されています。今後、持続可能な地域公共交通網を考えるうえで、以下の３点が課題と考えています。

① バス交通等のうち、幹線、支線の設定方法を決定すること

② 支線に対する必要な市の支援、市民の役割について明らかにすること

③ デマンド交通、自家用有償運送など、利用しやすく持続可能な移動手段の導入を検討すること